

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名				
○保護者評価実施期間	年 月 日 ～ 年 月 日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)	3
○従業者評価実施期間	年 月 日 ～ 年 月 日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	年 月 日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・お子様、保護者様の満足度	・広い環境で思いのままに身体を動かしてもらうことで情緒の安定に繋げ、肯定的な感情の体験を多くできるよう意識しております。	・運動強度を調節することで基礎体力の向上、ボールを使った運動を通してボディイメージの獲得や協調性運動の獲得など、専門知識も活かして日々の活動を行っていく。
2	・お子様の就学準備	・小学校入学という環境が大きく変わることにより必要なスキル(時間や持ち物の管理、困った時の対処)について活動を通じてできることを意識づけるよう声掛けをしております。	・一緒に活動している小学生を見てもらうことによって、小学校に対するイメージをより具体化することで期待を持って就学できる準備のお手伝いをしていきます。
3	・イベントの充実	・外出や親子参加型イベントを通じてたくさんの経験を提供できるだけでなく、ご家族にも参加いただくことで家族内、ご家族同士などコミュニケーションの場を作ることを心がけております。	・ご家族みんなに事業所を知っていただくことで安心感に繋がるようなイベントを行ってまいります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・他機関との連携	・お子様の園での様子や困りごとに対し、関係機関と話し合ったり、進学先と連携をとる際には保護者様を通じて行うことが多い状況である。	・より支援を充実させるためにもお子様が過ごす環境を1つでも多く知ることで適切な支援方法を検討していきます。
2	・活動しているお子様の年齢層	・現状小学校高学年が多い中で未就学児のお子様も一緒に活動しています。事後防止のため環境設定には十分配慮を行っておりますがお子様のソーシャルスキル向上も踏まえ、同年代のお子様の小集団だからこそ得られるものがあると考えております。	・活動方法の工夫や、年齢別に内容を分けることで工夫、改善の検討をしております。
3	・就学に関する支援	・就学をきっかけに退所してしまうケースもある。運動を中心とした活動の中で就学に糧お湯なスキルの獲得に具体的にアプローチすることが少ない。	・ご家庭、園と連携することで個の課題を認識し、FC.LIGでもできることを考えてまいります。